

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 東秩父村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.73	37.75	100.00	2,600

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,473	37.06	66.73
923	37.06	24.91

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より、公営企業会計に移行し法適用（一部適用）となったため、令和3年度以前の数値は表示されていない。

①公営企業会計に移行したことによる総係費の増加等により一般会計繰入金が法非適用時より大幅に増加したため、令和4年度分の消費税額が想定を上回り、3条支出が増え経常比率が100%を下回った。⑤からも解る通り使用料収入以外の一般会計繰入金等に頼っている状態であり料金改定が急務である。

②令和5年度の純損失が令和4年度の利益剰余金を上回り、累積欠損金の計上となった。料金改定による経営改善が必要である。

③100%を上回り前年度と比べても大きな変動はないが、他類似団体よりも低く維持管理費等も高騰しているため注意が必要である。

④他類似団体と比べ高い数値であるが当村が市町村整備型事業を先駆けて実施してきたことによるものと思われる。新たな起債の発行はなく前年度と比べ減少しており今後も減少傾向の見込みである。

⑤使用料で回収すべき経費を貯めていない状況である。50%を下回り、他類似団体と比べても低いため、経費削減や料金改定が必要である。

⑥汚水処理原価が他類似団体に比べ低い値にあるのは、設置基数が多く、年間有収水量が多いことが考えられる。

⑦施設利用率、⑧水洗化率については、市町村整備事業のため、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

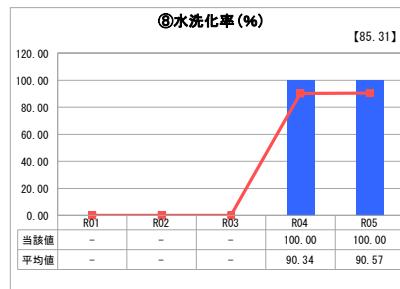
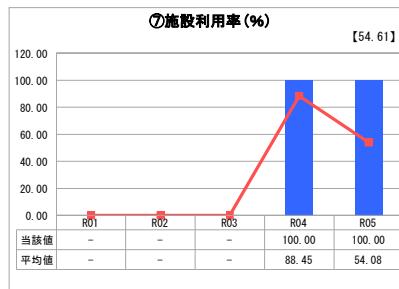
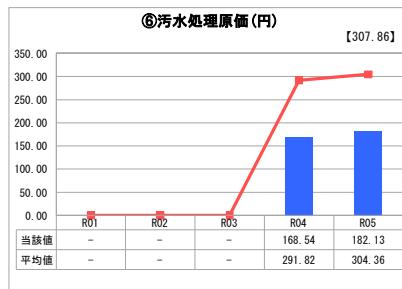
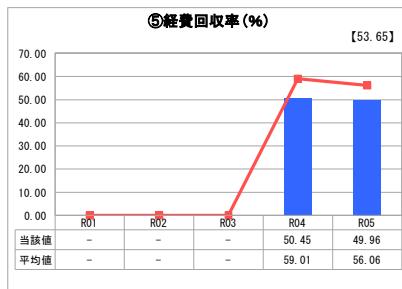
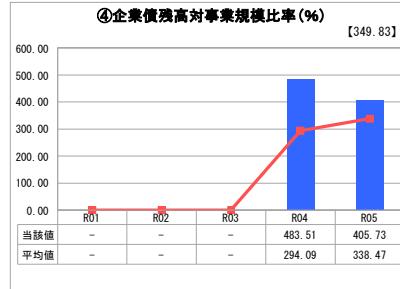
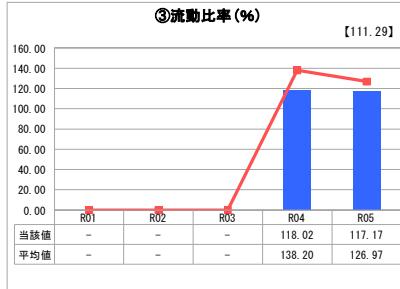
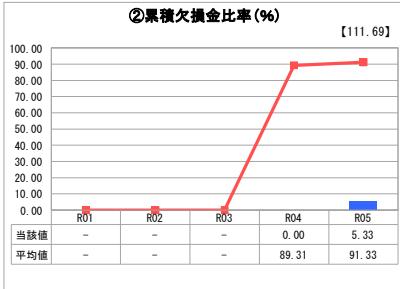
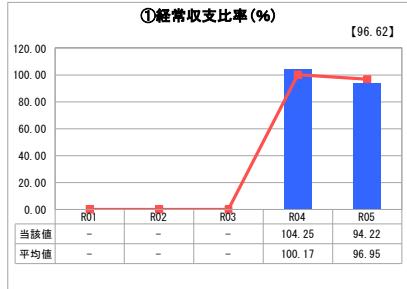
①当村は全域を浄化槽処理区域となっており、合併処理浄化槽の設置を推進している。本事業は平成15年度から始まった事業であり、当初設置した基体については20年経過している。また、設置基数の半数以上が設置から15年以上経過しているため償却率も高くなっている。現状は修繕の必要が生じた場合柔軟に対応し本体の状態を保っている。

全体総括

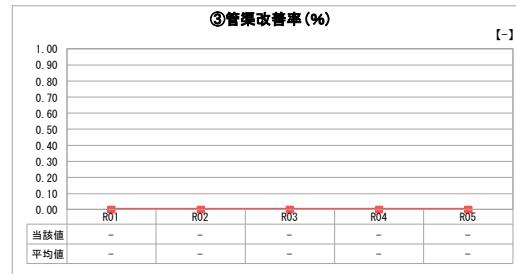
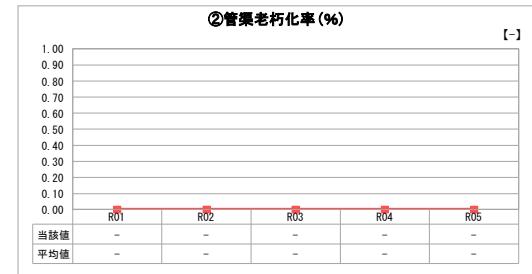
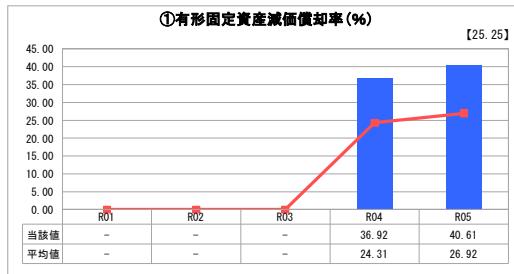
人口の減少、高齢化により新規設置や収入の増加が見込まれておらず、経費回収率も他類似団体や全国平均と比べても低く、3条支出の50%程を一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状態が続いている。

累積欠損金が生じたため経営改善は急務である。収支改善のため、事業内容を見直しそれに伴った条例改正を行った。令和6年度より施行となる。今後は経費回収率の改善のため、料金改定の検討を行う。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。